

平成30年度北海道大学大学院

文学研究科修士課程入学試験問題（前期）

試験区分	<input type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試
試験科目名	<input type="checkbox"/> 専門試験（ 中国文化論 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>「選択A」は中国思想分野に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な中国思想、日本漢学に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では漢文を訓読する力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p> <p>「選択B」は中国語学・中国文学に関する問題である。</p> <p>「問題一」は研究に必要な言語学、中国語学史、中国文学史に関する基礎知識を備えているかどうかを問うものである。また、「問題二」では広義の古漢語の読解力を、「問題三」では現代中国語の読解力および日本語の表現力をはかることを意図している。</p>

平成30年度
北海道大学大学院文学研究科修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 中国文化論 全6枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 6枚、解答用紙 3枚を配付する。

主として中国思想分野の修学を希望する者は【選択A】（1枚目～3枚目）を、
主として中国語学文学分野の修学を希望する者は【選択B】（4枚目～6枚目）を、
解答すること。

【選択A】

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次の中から五項目を選び説明せよ。

『周易』

『史記』

九流十家

何晏

張載

『近思録』

伊藤仁斎

良知

問題二 次の文章をすべて書き下せ。

孟子之少也、既學而歸。孟母方績。問曰、學何所至矣。孟子曰、自若也。孟母以刀斷其織。孟子懼而問其故。孟母曰、子之廢學、若吾斷斯織也。夫君子學以立名、問則廣知。是以居則安寧、動則遠害。今而廢之、是不免於斲役、而無以離於禍患也。何以異於織績而食、中道廢而不爲。寧能衣其夫子、而長不乏糧食哉。女則廢其所食、男則墮於脩德、不爲竊盜、則爲虜役矣。孟子懼、旦夕勤學不息、師事子思、遂成天下之名儒。

〔列女傳〕

問題三 次の文をすべて日本語に訳せ。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 李隆獻著『先秦兩漢歴史叙事隅論』「《左傳》「弑君叙事」隅論——以趙盾、崔杼為例」, 国立台湾大学出版中心, 2017年6月, 191～192頁

〔選択B〕

（解答は、問題一、二、三についてそれぞれ別の解答用紙を用いること。）

問題一 次のの中から四項目を選び説明せよ

文 選

平 話

新小説

鄭振鐸

兼語式

文字改革

聯綿詞

戴 震

問題二 次の文をすべて日本語に訳せ。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 『点石斎画報・大可堂版8』, 上海画報出版社, 2001年, 302頁

問題三 次の文をすべて日本語に訳せ。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学研究科教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 『魯迅全集』第二巻, 人民文学出版社, 1981年, 267頁